

## 博士（心理学）

Doctor of Philosophy in Psychology

### 学位授与の方針

学位を授与するにあたり以下の方針を掲げています。

ヒューマン・ケア科学の分野として、学際性を重視しながらも、心理学の専門性に立脚した独創的で優れた研究課題を設定し、科学的・系統的に研究を遂行し、論述し、総括する能力および社会貢献性の高い学術論文を公表する能力を有すると認められること。さらに、臨床心理士等、心理臨床の支援を行う高度な専門的技術力を練磨し、ケアリング社会の実現に資する実践能力を有すると認められること。

大学院学則に規定する課程の目的を充足した上で、次の能力を有することがヒューマン・ケア科学専攻内規に示した審査会において認定されること。

- ①ヒューマン・ケアリングの理念に基づく社会貢献性の高い成果を発信する能力
- ②心理学の専門領域における研究者として、独創的で有意義な研究課題を見出し、課題解決に貢献する高い研究能力と高い研究倫理観
- ③臨床心理士など心理臨床の支援を行う高度専門職業人としての実践能力と高い職業倫理観
- ④自身の研究内容を他の研究領域の者にも適切に説明できるプレゼンテーション能力ならびに適切な質疑応答ができるコミュニケーション能力
- ⑤心理学専門の大学教員としての高い教育能力

### 教育課程編成・実施の方針

ヒューマン・ケアリングの理念に基づく社会貢献性の高い成果を発信する能力①を獲得するために、ヒューマン・ケア科学基礎論Ⅰ、同Ⅱ、同Ⅲおよびヒューマン・ケア科学方法論Ⅰ、同Ⅱ、同Ⅲが必修科目として設けられています。

心理学の専門領域における研究者として、独創的で有意義な研究課題を見出し、課題解決に貢献する高い研究能力と高い研究倫理観②を獲得するためには、発達臨床心理学演習Ⅰ、同Ⅱならびに臨床心理学演習Ⅰ、同Ⅱが設けられています。

博士論文の指導を通じて、②の目的の達成に加え、自身の研究内容を他の研究領域の者にも適切に説明できるプレゼンテーション能力と適切な質疑応答ができるコミュニケーション能力④の獲得のために、発達臨床心理学特別研究および臨床心理学特別研究が設けられています。

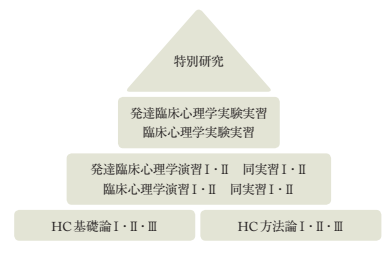
臨床心理士など心理臨床の支援を行う高度専門職業人としての実践能力と高い職業倫理観③を獲得するために、発達臨床心理学実習Ⅰ、同Ⅱならびに臨床心理学実習Ⅰ、同Ⅱが設けられています。筑波大学子ども相談室ならびに筑波大学心理相談室において、地域の人々に対して臨床心理学的支援を相談活動として提供し、教員によるスーパービジョン、相談室員全員との討論などを行います。

大学教員としての高い教育指導能力の獲得⑤のために、発達臨床心理学実験実習および臨床心理学実験実習が設けられています。ここでは、人間学群心理学類開講科目である心理統計実習ならびに心理学研究法のインストラクターを務め、科目担当教員の指導下で、学類学生に対する教育補助を行います。

大学院共通科目は、国際的な研究者として活躍する

ためのコミュニケーション能力の獲得や研究倫理観の涵養など、研究者としてのより豊かで高度な知識技能の獲得するための科目群として位置づけています。

以上の教育課程により、学際性と国際性を備えた心理学を専門とする高い水準の研究能力、心理臨床実践能力、心理学の教育能力を備えた「科学者—実践者」の育成を目指しています。



### 達成度評価

- ヒューマン・ケアリングの理念に基づく社会貢献性の高い成果を発信する能力…ヒューマン・ケア科学基礎論Ⅰ、同Ⅱ、同Ⅲおよびヒューマン・ケア科学方法論Ⅰ、同Ⅱ、同Ⅲの単位確認
- 心理学の専門領域における研究者として、独創的で有意義な研究課題を見出し、課題解決に貢献する高い研究能力と高い研究倫理観…発達臨床心理学演習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理学演習Ⅰ・Ⅱの単位確認並びに研究倫理審査申請書類と審査結果の確認
- 臨床心理士など心理臨床の支援を行う高度専門職業人としての実践能力と高い職業倫理観…発達臨床心理学演習Ⅰ・Ⅱおよび臨床心理学演習Ⅰ・Ⅱにおける単位確認と相談室での担当ケースのスーパービジョン
- 自身の研究内容を他の研究領域の者にも適切に説明できるプレゼンテーション能力ならびに適切な質疑応答

ができるコミュニケーション能力…博士論文構想発表会、中間評価会、予備審査、本審査それぞれにおけるプレゼンテーションと口頭試問

■心理学専門の大学教員としての高い教育能力…発達臨床心理学実験実習および臨床心理学実験実習の単位確認

### 学位授与の体制など

■博士1・2年次においては、3月ごとに学修指導を実施し、研究の進捗状況や今後実施すべき内容等に関して、学生が指導教員及び副指導教員との間で十分な意思疎通の下で共有しています。

■各年度末にその年の研究活動報告を提出させ、研究業績をチェックしています。

■参考論文リストを作成し、博士論文の提出条件となる学術雑誌名・投稿カテゴリーを学生に明示します。